

# 野草園だより



シンボルマーク  
原画 阿部功雲氏

## オオヤマザクラ(バラ科)

花期 4月下旬～5月上旬

東北地方以北の代表的な野生のサクラです。葉が出るのと同時に上品なピンク色の花を咲かせます。ヤマザクラより花や葉が大きいことからこの名がつけられました。また、ヤマザクラに比べて花の色が濃いことから<sup>べにやまざくら</sup>紅山桜、北海道に多く見られることから<sup>あまぞやまざくら</sup>蝦夷山桜とも言われています。野草園のある西蔵王高原には野生のオオヤマザクラが点在しています。

野草園は今年で開園 20 周年を迎えます。

# 春に咲く植物たち



**ミヤマカタバミ** (カタバミ科)

山地の木陰などに生える多年草です。  
葉はハート形で角が少しとがっています。



**アカヤシオ** (ツツジ科)

葉が開く前に淡いピンク色の花を咲かせます。  
水草の池付近の道路沿いで見られます。



**オオイワウチワ** (イワウメ科)

葉がうちわに似ていて、全体がイワウチワよりも大きいことからこの名がついたそうです。



**サンカヨウ** (メギ科)

茎の先に白い可憐な花を咲かせます。花の後、  
きれいな藍色の果実をつけます。



**ヤマウグイスカグラ** (スイカズラ科)

葉の芽吹く頃に淡紅色で漏斗状の花を咲かせます。  
初夏に実が赤く熟し、甘くておいしいです。



**アズマギク** (キク科)

日当たり、風通しの良い山地の草原に生える多年草です。全体に毛が多く、根生葉はへら形です。

# 自然のたくみさ・ふしぎさ

～世界にただひとつ ミヤマカスミザクラ～

野草園内に自生している桜の木のうちの1本が、昨年新品種として認められ、「ミヤマカスミザクラ」と命名されました。今回はこの新品種の命名に至る過程と特徴、和名の由来になったミヤマザクラ、カスミザクラについてご紹介したいと思います。

本園の元職員 志鎌節郎さんが、以前から野草園内に自生していた桜の木が、他のサクラとは違うことを発見しました。そこで、サクラ研究の第一人者の東京大学博物館の大場秀章先生に詳しい研究をお願いしたところ、ミヤマザクラとカスミザクラが自然交配したサクラであることがわかり、和名「ミヤマカスミザクラ」、学名「*Cerasus x shikamae* H.Ohba」と命名されました。なお、この学名は、発見者の志鎌節郎さんの貢献を讃えてつけられたものです。

ミヤマカスミザクラには次のような特徴があります。花序が総状で目立つ苞葉があるところはミヤマザクラに似ています。葉が開くのと同時に花が咲くところや花弁の先が2つに裂けている点はカスミザクラの特徴を受け継いでいます。ミヤマザクラはサクラ属のミヤマザクラ節、カスミザクラはサクラ属のヤマザクラ節に分かれていて、節を超えた交配は珍しいとされています。



ミヤマカスミザクラ

ミヤマザクラは、日本各地の山地から亜高山帯に生育する落葉高木です。葉が完全に開いてから花が咲くこと、花弁が丸く先端に切れ込みがないこと、葉の鋸歯がでこぼこしていること等が特徴です。ミヤマカスミザクラと同様に開花期が遅く、辺りが新緑に包まれる5月中旬～下旬に見頃を迎えます。



ミヤマザクラ

カスミザクラは、ヤマザクラが咲いた後に、葉の展開と同時に開花します。花は白っぽく、ヤマザクラに似ていますが、花柄に毛があるので区別できます。開花時の花の様子を霞にたとえてこの名がついたそうです。



カスミザクラ

野草園では、この他にもジュウガツザクラ、オクチョウジザクラ、オオヤマザクラ、ウワミズザクラ等のサクラが見られます。



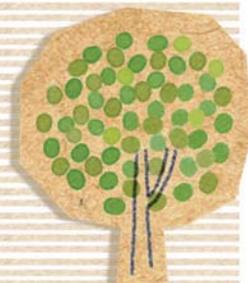
園長挨拶

## 野草園開園20周年を 迎えるにあたって

平成5年4月18日に開園しました山形市野草園も今年で20周年を迎えます。本園は、自然との触れ合いを通して植物を愛し育てることを啓発すると共に、花と緑あふれるまちづくりを推進し、「自然と人間の共生」を図ることを目的として開設され、これまで78万人を超える方々からご来園いただきました。開園当時700種程度だった植物も、現在では1,000種を超えるまでになっています。四季折々の植物の変化の神秘と、その美しさをご堪能いただいております。

野草園運営にあたりまして、これまで各関係機関、そして多くの方々からご協力いただき、心よりお礼申し上げます。我々職員一同、皆様から喜んでいただける野草園づくりを目指し、なお、一層努力してまいりますので、今後ともご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

山形市野草園 園長 高橋 清治



## 花も実も楽しめる植物

野草園には、春と秋で違った表情を見せてくれる植物があります。花が咲く春だけでなく、実がなる秋にも散策してみたいはいかがでしょうか。

花 / 5月中旬



ヤマシャクヤク

ベニバナヤマシャクヤク



花 / 6月中旬



実 / 10月中旬～下旬



実 / 9月下旬～10月上旬

ミヤマガズミ



花 / 5月下旬



実 / 9月下旬～10月上旬



▲一般の部最優秀作品  
東海林新彦さん  
「ファミリー」



優秀作品▶  
今井正晴さん  
「すてきな関係」

▶優秀作品  
伊藤和男さんの「焚火」



▶小中学生の部 最優秀作品  
谷口奈生さん「次の獲物はどこだ」



《写真コンテスト 最優秀・優秀作品》

## 審査を終えて

野草園の魅力を探る写真コンテストが今回で19回目を迎えました。一般の部では51人から173点、小中学生の部では6名から26点の応募がありました。一般の部では応募者数・応募点数とも、大変多かった前回には残念ながら及びませんでした。一方の小中学生の部では応募者数・応募点数とも増えております。デジタルカメラの性能が進化して写真がより身近なものになっており、写真に親しまれる若い方が増えていることは大変うれしいことです。また作品も新鮮で感性にあふれ魅力のあるものが多かったことも特筆されます。

一般の部で最優秀となった東海林新彦さんの「ファミリー」は、木陰でお父さんと息子さんが自然観察している一コマのスナップです。そばでお母さんと二人の妹さんも一緒に耳を傾けています。みんなの表情も自然で心が温くなる作品です。親子のふれあいに感動する作者の気持ちが素直に伝わってきます。広角レンズの使い方も嫌味にならず、また、背景の処理も見事な完成度の高い優れた作品です。

優秀賞に選ばれた伊藤和男さんの「焚火」は、秋の深まる園内を捉えたとても雰囲気のある作品です。ハウチワカエデを前景に人物を奥に配し、煙にかすむ広大な園内に視線を導く構図は撮影経験の深さと実力がうかがえます。また、プリントも落ち着いた色調で良かったと思います。

同じく優秀賞の今井正晴さんの「すてきな関係」はオミナエシの花に二匹のヒョウモンチョウが舞い遊ぶ情景を捉えたものです。蝶の姿と花の配置を考えてかなりのシャッター数を切られたと思いますが、二匹が縦に同じような形になったところをすかさず捉えたのはさすがです。他の応募者の方の作品にも蝶と花をテーマにしたものがたくさんありましたが、その中でも絵づくりの巧みさが際立った一枚でした。画題のセンスの良さも印象に残りました。

小中学生の部の最優秀となった谷口奈生さんの「次の獲物はどこだ」は、カマキリの顔と鎌を強調したインパクトのある素晴らしい作品です。背景もきれいに整理されていて、主役のカマキリの迫力が迫ってきます。構図もレンズの選択も適切で今後の作品が楽しみです。

優秀賞の五十嵐あすかさんの「ありの世界」は落ち葉を正面に大胆に置き背景に橋をシンメトリックに配置した構図が巧みです。また、菅原智里さんの「フラワーカーペット」は画面いっぱいセンニチコウを捉えた美しく爽やかな作品でした。

全体的に応募された作品の傾向としては、今回も花や野草と蝶などをアップ気味に捉えた作品が多いようでした。撮影技術のレベルは高いので、植物図鑑的な作品にならないように気を付けて、季節感のある光や風を感じさせる作品づくりへの挑戦を期待いたします。また、野草園主催の様々な催しなども撮影者自身のオリジナルな視点で捉えてみるのも面白いのではないのでしょうか。

最優秀賞をはじめ、入賞されました皆様おめでとうございます。これからも野草園の魅力の皆様を皆様目と素晴らしい感性で発見し引き出していただけるようお願い申し上げます。

平成24年11月1日 審査員代表 軽部 治悠紀

## 催しものスナップ



ラベンダースティック作り



プリザーブドフラワー教室



そば打ち体験

# お知らせ

平成25年度の開園は4月1日(月)です。  
当日、先着100名に花苗をプレゼントします。

## 主な催し

### 展示

- 野草園写真展  
4/2(火)~4/21(日)
- 春の山野草展  
5/3(金)~5/5(日)
- 20周年記念写真展  
6/1(土)~7/7(日)
- 東北南3県ポタニカルアート作品展  
9/8(日)~9/23(月)
- きのご写真展  
10/6(日)~10/20(日)
- 第20回写真コンテスト入賞作品展  
11/1(金)~11/23(土)

### 観察会

- ガイドウォーキング  
4月~11月まで毎週日曜日
- 四季観察会  
5/18(土)、7/20(土)  
9/21(土)、10/19(土)  
平成26年2/16(日)
- ホタル観察会  
6/28(金)~6/30(日)  
7/5(金)~7/7(日)

- 星空を見る会(未定)
- 早朝バードウォッチング  
4/21(日)

### 体験教室

- 野草園オリエンテーリング  
4/13(土)、4/14(日)、4/20(土)  
4/21(日)、5/3(金)、5/11(土)  
5/12(日)、5/18(土)、5/19(日)
- ミニSL運行  
4/28(日)、4/29(月)、7/28(日)  
10/12(土)、10/13(日)
- ポニー乗馬体験  
5/3(金)、5/5(日)、10/14(月)
- ガーデニング教室  
6/8(土)
- 山野草の育て方教室  
5/28(火)、10/22(火)
- ラベンダースティック作り  
7/20(土)、7/27(土)
- 木工工作教室  
7/28(日)、8/10(土)
- 工作体験  
5/5(日)、10/13(日)
- そば打ち体験  
6/15(土)、6/22(土)  
9/28(土)、10/5(土)

- プリザーブドフラワー教室  
9/7(土)
- オキナグサ講習会  
6/23(日)
- ハーブを使ったリース作り  
10/12(土)
- 工作コーナー  
7/20(土)~8/18(日)

### コンテスト

- 野草園の魅力を探る写真コンテスト  
応募締切り 10/6(日)

### その他

- 春の野草園祭り  
4/27(土)~5/6(月)
- 夏の野草園祭り  
7/27(土)、7/28(日)
- 秋の野草園祭り  
10/12(土)~10/14(月)
- 植物観察ときのご鍋  
10/20(日)
- 焼き芋  
11/9(土)

## この花を 探せ!

今回の花は見つけられるかな



オオミスミソウ(開花時期4月)



ヤマブキ(開花時期5月)



ナナカマド(開花時期5月)

### 《開園時間等》

- 開園時間  
4月~5月 9:00~16:30  
6月~8月 9:00~18:00  
9月~11月 9:00~16:30
- 休園日/毎週月曜日  
ただし、月曜日が祝日・休日の場合は  
その翌平日  
※4月の第3月曜日から6月の  
第2月曜日まで休まず開園します。
- 冬期間休園/12月~3月
- 入園料/大人:300円 高校生以下:無料  
◆団体割引(20人以上の場合)  
大人:240円 高校生以下:無料

### 《交通案内》

- JR山形駅より山形交通路線バス蔵王・野草園行き終点下車(約30分)
- 山形自動車道蔵王I.Cより蔵王高原ラインを蔵王温泉方面へ15分
- 滝山小・芸工大方面より岩波経由又は、ヒルズサンピア方面より  
市道三本木線経由で自家用車15分

